



## 建設コンサルタント技術者として

### 社会に働きかける生き方

株式会社アワグラス

岸村憲作 (KISHIMURA KENSAKU)

建設部門・総合技術監理部門

#### 1. はじめに

2010年に株式会社アワグラスを設立し、10年以上が経過した。これまでの10年間、私は建設コンサルタント技術者として直接、社会に働きかける生き方を模索してきた。NPO法人徳島保全生物学研究会・NPO法人郷の元気等での非営利法人活動、吉野川市美郷梅酒特区での梅酒製造業、自社で製造した梅酒を提供する飲食店業 etc. ここではそうした活動の中でも、無人駅を活用したトレインワークス事業を紹介し、私の経験を踏まえた中心市街地活性化の展望について述べる。

#### 2. 無人駅を借りる

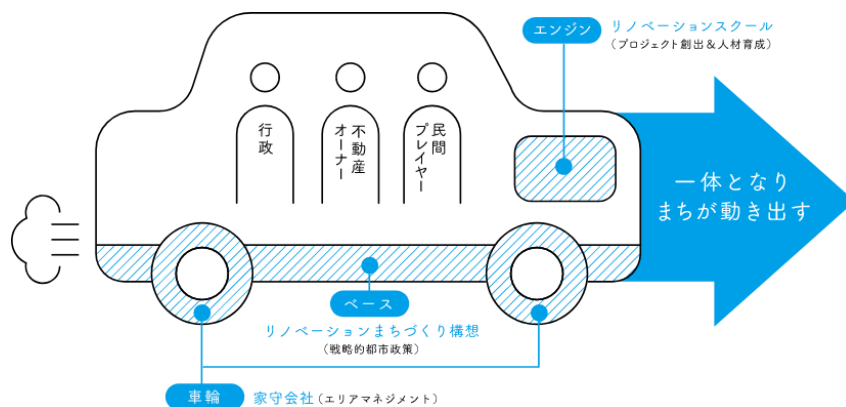
現在、株式会社アワグラスでは、JR 四国グループ会社のステーションクリエイト東四国を通じて、牟岐線の二軒屋駅（2015年5月～現在）と徳島線の蔵本駅（2020年3月～現在）の空き店舗を借りている。

そもそもなぜ無人駅の空き店舗を借りようと思ったか？その理由は、経済産業省の事業を担当した経験にさかのぼる。私は、「平成24年度 地域商業再生事業 鴨島駅前商店街」、「平成26年度 商店街まちづくり事業 小松島二条通商店街」に、建設コンサルタント技術者として参画した。事業を通じて、中心市街地活性化の難しさに直面していた折、「リノベーションまちづくり」という取り組みが、全国で成果を挙げていることを知った。私は自分の目でその取り組みを確かめるため、2014年10月31日～11月2日に開催された第2回リノベーションスクール@和歌山、2014年11月15日～16日に開催されたリノベーションスクールまちのトレジャーハンティング@豊島区に参加した。



写真.1 第2回リノベーションスクール@和歌山のユニットメンバー集合写真

リノベーションまちづくりは、まちづくりのエンジンとなる「リノベーションスクール」(プロジェクト創出&人材育成)を開催し、まちづくりのエリアマネジメントを担う家守会社を生み出し、民間プレイヤー・不動産オーナー・行政が一体となってまちづくりに取り組む仕組みである。



出典：「リノベリング HP」<https://www.renovaring.com/>

図.1 リノベーションまちづくりの仕組み

リノベーションスクールに参加した私は、その仕組みと熱量に触れ、自らでまちづくりプロジェクトを実行する決意をした。

### 3. 無人駅で何をする

勢いだけで2015年5月に二軒屋駅を借りた私は、当時、徳島県では、まだ珍しかったコワーキングスペースをオープンした。拠点の名称は、駅舎を列車に見立て、列車で仕事をする「トレインワークス」と名付けた。今では徳島県内に約30拠点のコワーキングスペースができ、徳島県は仕事と休暇を両立する「アワーケーション」を推進している。

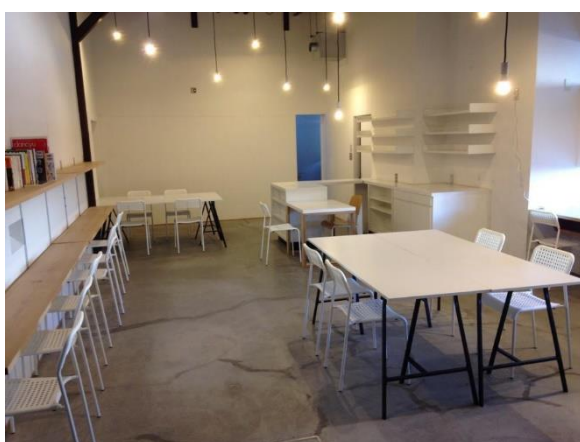


写真.2 オープン当時のトレインワークス二軒屋



図.2 トレインワークスロゴ

コワーキングスペースの利用料は、半日 500 円・1 日 1,000 円、月の利用者は、30 名程度だった。単独の事業としては到底、採算のとれる商いでは無かったが、面白い人間が集まる装置としての可能性を感じながら、私は次の展開を模索し始めた。

#### 4. 小商いの場をつくる

オープンから 1 年が経過した 2016 年春、トレインワークスの次なる展開として、広いスペースを 2m×2m 程度の小さなスペースに区分けし、スタートアップを目指す若手起業家にスペースをサブリースする方式に転換した。これまでに雑貨店・ネイルサロン・焼き菓子店・フラワーショップ・エステサロン・占い・芸能事務所等、多様なオーナーが利用している。



写真. 3 小さな店舗が集まる場所に変化

2016 年から約 5 年間で、トレインワークスでスタートアップ・利用したメンバーから、独立して自分のお店や拠点を持つオーナーが続々と生まれている。

表. 1 主なトレインワークス卒業オーナー

業 種	屋 号	場 所
ネイルサロン	Have a nice nail	徳島市
雑貨・家具	house	徳島市
焼き菓子	kuchen	北島町
コーヒーショップ	to caffee	徳島市
エステサロン	ton doux	徳島市
コーヒーショップ	minatohe	小松島市
レンタルサロン	Near	鳴門市
インドネシア料理	di café	吉野川市

## 5. トレインワークスを広げる

二軒屋駅での成功体験に気をよくした私は、さらなる勢いで、2018年5月、小松島市にトレインワークス大正館（2021年秋閉鎖）、2020年3月、トレインワークス蔵本をオープンした。小松島市では、この拠点づくりをきっかけに2018年から3年間、小松島市移住交流支援センターの運営を受託し、移住のワンストップ窓口を担当させて頂いた。また、徳島大学の小川宏樹教授、株式会社リテラスの喜田智彦社長と小松島まちづくり社を結成し、空き店舗の改修・サブリースを行ってきた。

また、蔵本駅ではキヨスク跡の空き店舗に学習塾が入居している。暗かった蔵本駅に灯りがともり、勉学に励む児童・生徒が夜遅くまで行き交うことで駅の治安も向上している。



写真.4 小松島移住交流支援センター



写真.5 小松島まちづくり社メンバー

## 6. まちづくりのこれから

二軒屋駅にトレインワークスをオープンした2015年から6年以上が経過した今、徳島県おけるまちづくりの様相にも変化が見られる。行政によるコワーキングスペースの整備については、先に触れたとおりであるが、注目には値するのは、民間事業者から多様なプレイヤーが誕生している点である。



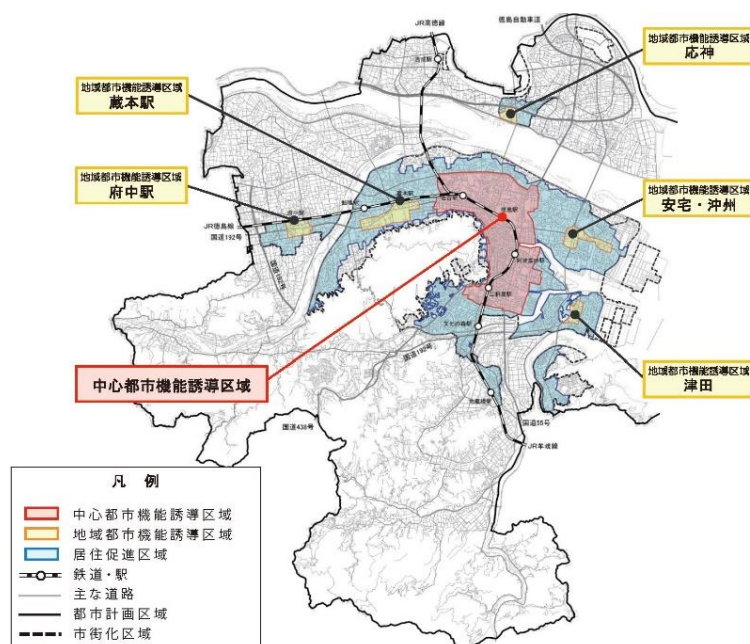
写真.6 二軒屋駅の相談にのってくれている建築家の野田雅之さん（左）・高橋利明さん（右）

私の知人も以下のような複合施設を運営している。また、これ以外にも若手事業者による新たな拠点も増えてきている。

表.2 知人が運営する主な複合拠点

拠点名	概要	場所
PONT NEUF PONT NEUF kisser PONT NEUF blanc	スタイリストの久野淑子さん、建築士の野田雅之さんによる複合型シェア店舗。これまでに東新町商店街に3拠点を運営している。	徳島市
リテラスビル	デザインコンクリート施工業の喜田智彦さんによる複合ビル。劇団、音楽家、飲食店等が入居している。	徳島市
うだつ上がる	建築士の高橋利明さんによる複合型シェア店舗。雑貨店、書店、古着屋等が入居している。	美馬市

徳島市では、徳島市立地適正化計画の基本方針の1つに、「県の拠点都市に相応しい都市機能を集積し、人の交流（にぎわい）を創出するまちづくり」を掲げ、2020年度からリノベーションまちづくりがスタートしている。徳島市には、万代中央ふ頭を拠点に活動するNPO法人アクアチッタ、ひょうたん島クルーズを運営するNPO法人新町川を守る会、とくしまマルシェ等、県外のプロジェクトにも引けを取らない優れた活動を有している。これからのまちづくりには、個・団体による点の活動を線でつなぎ、新しい絵を描く取り組みが必要であり、徳島市のリノベーションまちづくりの今後が期待される。



出典：徳島市立地適正化計画 概要版

図.3 徳島市立地適正化計画 誘導区域全体図

## 7. おわりに

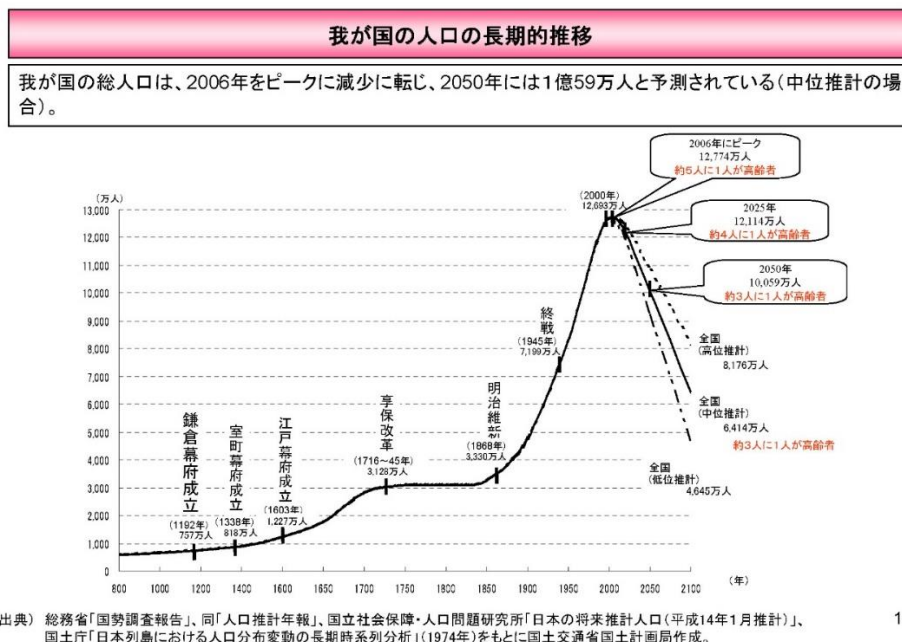
大手資本のお店が立ち並ぶ国道沿いは、全国どこも同じ表情をしている。その土地の人、その土地の言葉、その土地の味を楽しめることが、まちの魅力につながる。個性があり、魅力的なお店を応援するためにも、地域内で経済循環させることが極めて重要であり、全国各地において地域内で経済を循環させる「BUY LOCAL 運動」が進められている。地域で生産された物品の購入、地域のお店で買い物を継続する仕組みづくりが急務である。

出典：和歌山商工会議所青年部

図. 4 和歌山市 BUY LOCAL 運動



日本の人口はジェットコースターが下るようなスピードで急激に減少することが確定している。人口増加時代を育ってきた我々世代は、今までの延長線上には、まちの未来がないことを自覚しなければならない。私は建設コンサルタント技術者として、この計画は将来世代につけを残さないか?を自問自答し、人口減少社会に貢献できる技術者でありたい。



出典：「人口の動向等について」ライフスタイル・生活懇談会 国土交通省提出資料

図. 5 我が国の人口の長期的推移